



東日本ユニオンにいがた

<http://niigatachihon.yukigesho.com/>

JR東日本労働組合新潟地方本部

2023年7月15日発行

第51号（通巻第275号）

発行者：星山 圭 編集者：教育・広報部

JR労働者が働きがいを得るJR東日本と 安心を得る社会をつくらう！



JR東日本労働組合
第12回定期大会

7月5日、東京都の田町交通ビルにおいて「第12回定期大会」が開催され、新潟地方本部からは代議員・傍聴者あわせて19名が出席しました。

第10回中央委員会以降の2023春闘や夏季手当などをはじめとする取り組みの総括を行い、向こう一年間の運動方針を満場一致で確認しました。

藤本中央執行委員長は「とりが認められたことを主催者あいさつの中で、第11回定期大会以降に相次いで組織拡大を実感し、喜びあい、成果を確認しよう」と述べました。

その上で、「東日本ユニオンは今年12月に結成10周年を迎える。JR労働運動の一元化に向けて組織強化・拡大を運動の大きな柱としてきたが、この理念は、今後も変わることなく、『変革2027』の実現に向けた会社施策などのスピードがさらに加速し、複雑かつ緻密化している。JR労働者の利益を守ることを最優先にしっかりとスピード感をもって、一つひとつ丁寧に会社施策と向きあう」「労使ともにJR採用者がそれぞれの中心を担い牽引していく転換期として、大きな節目の時期を迎えた。これまで培ってきた力強い団結力と揺るぎない絆をお互いに確認し、未来に向かって大きく羽ばたいていく」と訴えました。

新潟地方本部の粉川代議員は、2023年度夏季手当の取り組みと、不当労働行為に抗するたたいについて、組織拡大の視点から発言しました。

東日本ユニオンが全組合員で取り組んでいる姿が組織拡大につながっていること、人間関係も職場での運動もどちらも重要だということ、環境に関わらずユニオンの組合員が

年末手当の取り組みに向け議論をスタート

質疑では8名の代議員から「組織拡大の実現」や「統一行動」「東日本ユニオンへ多く寄せられたJR労働者の声や期待」など、取り組みの成果と課題について発言があり、東日本ユニオン運動を通じて組織が強化されていることが確認できました。

新潟地方本部の粉川代議員は、2023年度夏季手当の取り組みと、不当労働行為に抗するたたいについて、組織拡大の視点から発言しました。

東日本ユニオンが全組合員で取り組んでいる姿が組織拡大につながっていること、人間関係も職場での運動もどちらも重要だということ、環境に関わらずユニオンの組合員が

柱としてきたが、この理念は、今後も変わることなく、『変革2027』の実現に向けた会社施策などのスピードがさらに加速し、複雑かつ緻密化している。JR労働者の利益を守ることを最優先にしっかりとスピード感をもって、一つひとつ丁寧に会社施策と向きあう」「労使ともにJR採用者がそれぞれの中心を担い牽引していく転換期として、大きな節目の時期を迎えた。これまで培ってきた力強い団結力と揺るぎない絆をお互いに確認し、未来に向かって大きく羽ばたいていく」と訴えました。

生田書記長は集約答弁で「2023春闘では2係数を取り戻す事を合言葉に取り組み、ベアと2係数相当分を勝ち取った」「夏季手当では年間最低6・0ヶ月分の水準を求め取り組み、JR労働者全体の課題に高めた」と振り返り、成果をみんな確認したいと述べました。

そして、JR労働者の一体感を作ること、組合員と共に取り組むことが組織強化・拡大に向けた教訓であるとして、今日から年末手当の取り組みに向けた議論をスタートしようと呼びかけました。



6月24日に、J-EISデータセンターでの電源遮断の影響により、業務に係るシステムのダウンや、クレジットカード決済、「えきねっと」などWebページへのアクセスが不能になるなど大規模なシステム障害が発生しました。

完全復旧までに12時間を要するなど、多くのお客様に不便をおかけしました。

新潟支社管内では大きな混乱があったとの報告はありませんが、「確認作業はどのような形で進んでいたのか」「バックアップ機能はなかったのか」といった疑問や、指令からの指示が遅かったといった課題を訴える声为新潟地方本部にも寄せられました。

JR東日本はこれまで「変革2027」に基づく「駅の変革」の施策を推進し、「話せる券売機」を導入する一方で「みどりの窓口」を閉鎖するなど、「えきねっと」をはじめとする電子決済を主とする販売体制への移行を急速に進めてきました。

駅の要員は減少し、大規模なシステム障害が発生するたびに改札やみどりの窓口、車内での対応など

現場社員は大変な苦勞を強いられています。

ネット予約やチケットレス乗車の促進により、多くのお客様がネット販売にシフトしている現在、大規模なシステム障害はJR東日本に対する信頼を失墜させる事象であると言わざるを得ません。

今後、このようなシステム障害を二度と発生させないために原因究明と対策を求め、中央本部は6月26日に「本部申14号・2023年6月24日に発生した大規模システム障害に関する緊急申し入れ」を提出しました。

原因を質し対策を求める

本部申14号

大規模システム障害の原因を質し対策を求める

新潟地方本部 第12回定期大会



と き:2023年8月5日(日)
12時00分より
ところ:万代市民会館

■本部申14号申入れ項目

1. 2023年6月24日に発生したJ-EISデータセンター電源遮断の影響によるシステム障害の原因および対策を明らかにすること。

2. 大規模システム障害発生時の販売体制と、お客さまの案内体制について明らかにすること。